

沖縄活用型商流・物流拡充ビジネスモデル実証事業

事業目的

沖縄における物流関連産業の振興のため、沖縄を経由して輸出する必然性を備えた実現可能性のあるビジネスモデル案を実証する。

事業内容

本事業は、沖縄を経由した輸出量の増加に向け、課題となる輸送コストや海外販路の確保、商材の調達等に関し、そのノウハウを有する企業同士が連携して、「沖縄を経由する必然性」を踏まえた、沖縄からの輸出量増加に資するビジネスモデルを構築するため、実証事業を実施する。

また、これら実証事業について、専門コンサル事業者による分析、評価、検証を行う。

1. 実証事業

(1)対象者

商社同士や商社と物流、小売、生産等業種による連携事業体、具体的には県内に本店を置く商社を中心とした事業体を想定するが、小売業等が中心となった事業体の応募も妨げない。

(2)対象経費

全国特産品や県産品等について、沖縄を経由し、海外各地への輸出に係る経費 ※取組数は、2件程度

- ①人件費
- ②通関、検査等各種手数料、倉庫保管費、コンテナ横持ち費用
- ③広告宣伝、営業活動費
- ④海外売場スペース確保費等

2. コンサルティング、調査事業

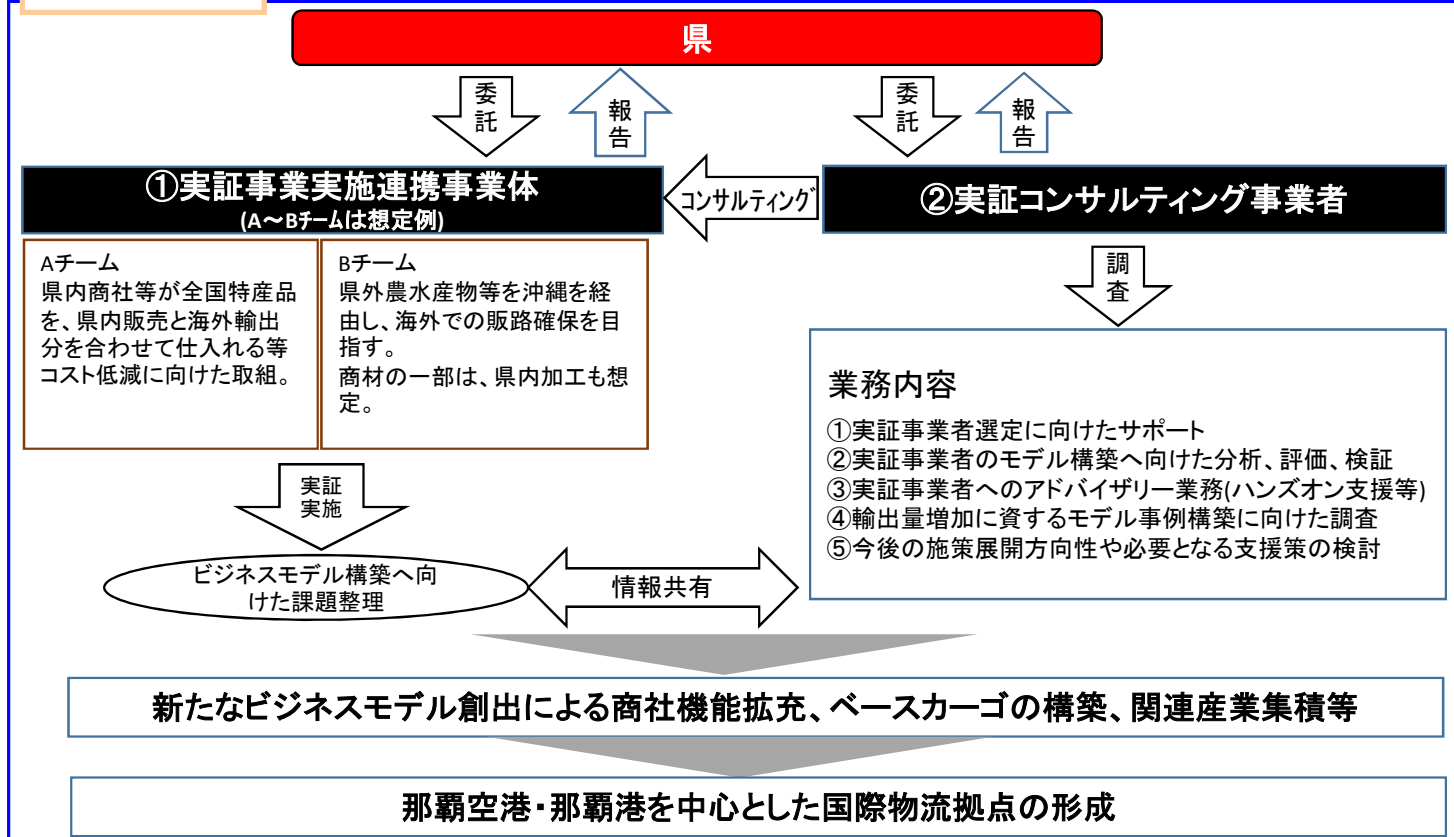
(1)対象者

海外展開やこれに係る企業支援について専門的知見を有する者

(2)対象経費

コンサルティング、調査経費(人件費、旅費、事務費等)

事業イメージ



新たなビジネスモデル創出による商社機能拡充、ベースカーゴの構築、関連産業集積等



那覇空港・那覇港を中心とした国際物流拠点の形成

全体工程表

全体工程の考え

物流関連産業振興のため、商社や物流、小売等複数の業種が連携し、それぞれの強みを活かした事業者が、沖縄の地理的優位性や物流ハブ等を活用した海外展開における新たなマーケット開拓等により、沖縄ならではのビジネスモデルとなりうる取組を実証するための事業を**検証**し、ビジネス事例の普及を**促進**することで、沖縄における商流・物流機能の拡充を図る。

年度別工程表

	H29	H30	H31	H32	H33
【委託事業】 ビジネスモデル構築 ※想定					
		【H30】 連携事業体制の構築(商材確保、海外拠点確保、販路開拓、テスト輸送) マーケット開拓、確保(営業機能拡大、パートナー連携、定番化促進) 【H31】 ビジネスモデル構築(大口輸送、販路拡充、リテールサポート)、 支援メニュー検討			
					
【補助事業】 ビジネス事例集積 ※想定				【H32】 ビジネスモデル普及、支援メニュー実施 【H33】 ビジネス事例集積、支援メニュー実施	

コンサルティング

- ・分析
- ・アドバイザー
- ・課題整理